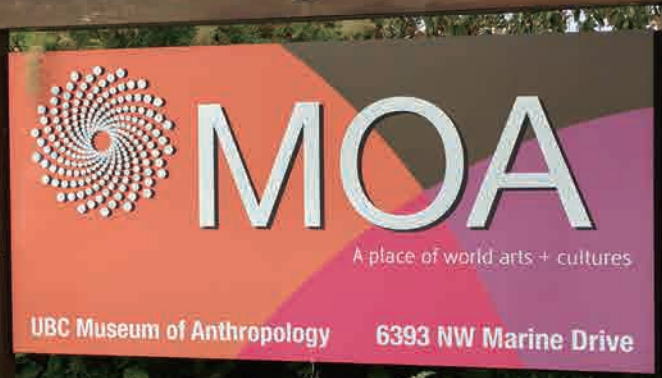


つるのおんがえし

「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」

特大号



カナダのバンクーバーに行ってきました!!



7月18日から5日間、カナダのバンクーバーへ UOT conference (旧世界会議)のメンバーとともに行ってきました。なぜ、バンクーバーに行ったのか。毎年大規模な世界的講演会を主催している「TEDカンファレンス」が開催されている街がバンクーバー。当初はアメリカ国内で開催をしていたTEDが、わざわざバンクーバーに移動し、この街の中にあるコンベンションセンターを拠点に活動している理由を探しに行ったというわけです。

世界を良くしようという活動をしている私たちも、バンクーバーに一度は行かねば!」と思っていたところに、通常は20万円はかかる名古屋バンクーバー間の往復チケットが、7月中はなんと定価の4分の1という破格で売られていることを知り、「こりゃあ、神の啓示っす!」というところで、畳み掛けるように予定を組んで、GOしました。

先月のつるをおんをお休みさせていただいた代わりに、今月は2回分をおまとめして特大号としてお届けいたします。

過ごしやすい夏、余裕の持てる時間感覚

世界の住みやすい街ランキングで常にベスト3に入るとされるバンクーバー。どんな暮らしぶりなんでしょうか。

朝6時前に日が昇って、日没は21時頃。日照時間がとても長いので、その分仕事をしているのかなあと思いきや、17時にはバーが混み始めて、明るい時間からお酒を飲んでいる陽気な人たち。

日本の都市機能と比較

道は広いのかなと思いきや、日本とそれほど変わらずで、渋滞は気にならない程度。バンクーバーの中心街は網の目に道路ができていて、建物も都心に比べれば、それほど高層でもない感じなので、広い通りをテクテク歩いていましたが、建物に圧迫されるような感じはなく、ごちゃごちゃしている印象も感じませんでした。

国立図書館は、英語が読めるなら、毎日でも行きたくなる場所でした。民間のテナントも入っていたり、運営の全てが行政頼みにはなっていないようで、この





国立図書館は一日いても飽きません



今年がちょうど建国150年なんですって！



博物館には原住民の作ったものがたくさん



ベジタリアン専用のプレート



チーズたっぷりのピザ、食べすぎっ！



レンタサイクルは街のあちこちに



日本発のお店、ジャパドッグ！！



駅前のおしゃれなバー。この明るさで夕方ですよ。



図書館にある録音ブース、いいですよ



建物と空間のバランスがよく、街がスッキリした感じ

形は日本でも真似できると
 思いました。
 ダウンタウンは多種多様
 なお店が立ち並んでいて、観
 光地としては面白い場所です。
 また次に行く機会があつ
 たら、台北の夜市のような、
 眠らない街的な場所も探し
 てみたいなあと思いました。

**幸福度は
 どうなんでしょうか**

カタコト英語もままなら
 ない私のぶつ切り英語をど
 うにか聞き取ろうと努力し
 てくださるお店の人たちの
 ご厚意は温かかったです。
 コーヒーに砂糖を入れるか
 い？的な質問も、こちらら
 が？？な顔をしていると、別
 の言い方に直して質問して
 くれるんです。移民のまちと
 いうことで、多様な文化を受
 け入れる習慣が根付いてい
 るのかもしれない。

走っている車の多くが、日
 本では高級車と呼ばれる車。
 日本メーカーの車も見かけ
 ましたが、おそらく北米仕様
 になっているであろう、どデ
 カいサイズのものがほとん
 どでした。おそらく裕福な方
 が多いのでしょうか。

一方で、街を歩き続けると
 ちょこちょこ見かけるのが、
 物乞いをしている人が多い
 こと。貧富の差もそれなりに
 あるようです。観察しすぎな
 いように眺めていましたが、
 身体が大きくなりすぎて電
 動車椅子に乗っている方が、
 「Heelp」と書かれた紙
 を持って、交差点前に座って
 いる光景はなんだかなあ、と
 思いました。

**自分なりに
 見つけたこと**

TEDが世界的な会議を
 催すのに必要なインフラや
 多くの宿泊施設、長期滞在者
 を受け入れられる食文化も
 含め、多様な文化を受け入れ
 やすいバンクーバー。どんな
 国からここへ来ても快適に
 感じることでしよう。夜中の
 1時にあえてセブンイレブ
 ンに買い物に行ってみまし
 た。それでも怖さを感じな
 い治安の良さ。住みやすい街
 に選ばれる理由はたくさん
 見つけられました。

しかし、おこがましいかも
 しれませんが、バンクーバー
 に世界的な問題を解決する
 ための理想形はなかったよ

うです。日本から世界課題を
 解決するタネを生み出すた
 めに、私が必要だと感じたの
 は便利を増やすことではな
 く、狭い国土における取捨選
 択の方です。バンクーバーも
 それほど広くはないところ
 ですが、自然はしっかりと残
 しながら、必要最低限のもの
 が集まっています。こちら辺
 はまちづくりのセンスの問
 題だと思いますが、都内の限
 られたスペースでおこなう
 よりも、やはり地方から日本
 発の素晴らしいものが生み
 出せるかと確信しました。

そして、私の考える世界構
 想においても、バンクーバー
 の光と陰が見えたことから
 大きなヒントを得ました。誰
 も取りこぼすことなく幸福
 にできる理想のサービスを、
 未来から引き寄せることが
 できたんです。この夏の5日
 間は、未来のどこかでターニ
 ングポイントだったと言え
 るに違いありません。素敵な
 旅でした。



バンクーバーに行くならここ！

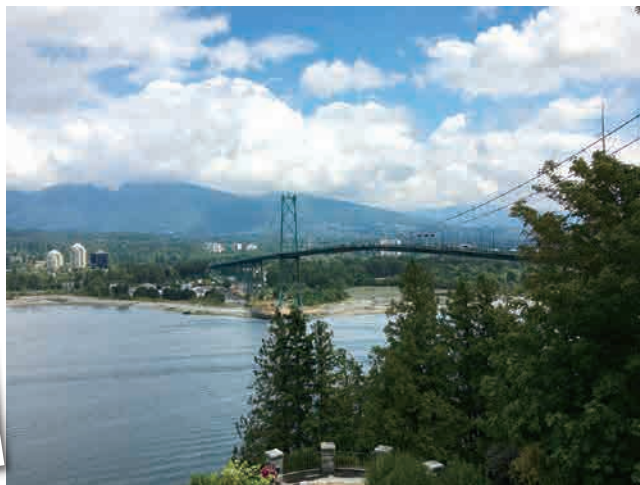
私なりのベスト3をご紹介します!!

スタンレーパーク

現地の人、「ここがBESTよ!」と言ったほどの場所です。走る気満々で行かないと全部回れないほど、だだっ広い公園です。私は自転車をレンタルしてグルーっと1周しました。海辺なのに、山の中を散策するようなたくさんの緑や、舗装されていないじり道。これだけの広さは日本には絶対ないので、お弁当でも持って行ったら、すごくくつろげるはずですよ。



↑自転車で乗って橋を渡りました！



全長1823メートルの吊り橋、ライオンズゲートブリッジ

グラウスマウンテン

都市部から無料シャトルバスでいける、高尾山のような場所です。バンクーバーの自然と一体になった都市を一望できる雄大な景色。山の上でおこなわれるランバージャック(木こり)ショーは、ハラハラドキドキで楽しかったです。伊勢原の大山に登り慣れている人たちには、一緒に登りましょうって言えば、超素敵な場所です。



一本の木から削り出している像



バンクーバーの街全部を見れます。最高の景色ですよ。

UBC人類博物館

UBC(ブリティッシュ・コロンビア大学)の中にある博物館です。ここは大学構内を散策するのを含めて、是非一日がかりで行きたいところです。世界中の歴史が、当時の人が作った様々なものによって分かるようになってきているところです。

日本の江戸時代を紹介するコーナーもあって、そこに、越後屋が初めて行ったポスティングチラシの原型「引札」の現物もあり、超テンションが上がりました。

UBCの構内の図書館も素晴らしすぎました。ツタヤと公の図書館と東急ハンズを足して倍掛けたような!? 楽しい場所もあり、息子をこの大学に入れたと思っちゃいました。



← 奴隷と何かがテーマなのかな



↓道場はカナダでもDOJO。



↑ショッピングモールのような図書館です。



↓大学の教科書、カッコイイ!



日本の大学にはない、おらかさと遊び心を感じました。

心に響く感動の格言

Words by アントニオ猪木

この夏は、高校3年生の時に行って以来のプロレス観戦をしてきました。そして、久しぶりに日本の海を泳いできました。淡路島のとっても素敵なビーチです。ということで、プロレス+海とをかけ合わせた今回の名言です。

プロレス界には、革命と呼ばれる多くの出来事、革命を実行した人物がいます。アントニオ猪木本人はもちろん、彼に反発して大胆な行動に出た選手も多くいます。時にショー・パフォーマンスと揶揄されるプロレスですが、今回の格言のように、覚悟を決めて行動をしてきた人たちが作ってきた歴史背景を知ると、今日まですべてが繋がっているの、とても面白いのです。

人間は日常におぼれやすい生き物で、特に日本人はどこを見渡しても便利で豊かなだけに、満足度は高いと思います。一方でそれは、商売だけを見ても長くは続かないと私たちは知っています。変わる努力、覚悟によって、満足は継続する。水も流れなければ腐るって言いますもんね。「今しかないぞ！俺たちがやるのは」by長州力

海の中で満足している魚には、陸に上がることを決めた魚の気持ちはわからない。



編集後記

今回、7月のカナダ旅行の話題を中心に、2ヶ月分を一つにおまとめしました。前職で勤めていた頃から10年以上続けているのですが、合併号にしたのはおそろしく初めてです。たくさん書いて、たくさん写真を載せているので、いつもより読み応えがあるかと思いますが、何か一つでもお伝えできたら幸いです。

そんな中、編集後記はいつも通りの子育て日記です。

子供の成長は、私たちの生活リズムとは全く関係なく、駆け足で進んでいきます。「子育てとは親育てである」とどなたかが言っていたのを思い出しますが、まさに親としての対応力を、子供の成長に追いつけ追い越せと育てなくちゃならない日々です。妻がよく「ついこの間の事が思い出せない」と言っていますが、私も全く同じです。ついこの間抱っこをして寝かしつけていたはずなのに、



今では全く通用しなくなっていて、毎日もがいています。「縦抱きをするんだ！」「座るんじゃない！」「立つたまま揺さぶり続けるんだ！」「そう息子に言われているかのように、寝かしつけるためにただただ必死です。目をつぶったチャンス！とベッドに連れていくと、また目がぱちつと開く。背中をセ

ンサーでもついているのか？無理やり寝かそうとしている、こちらの魂胆がバレているのかもしれない。もっと子供の呼吸に合わせるといっか、都合を押し付けちゃいかんですね。明日になるとまた何か一つ、出来ることが増える子供を前に、私たちも同じように一つ、成長させてもらえるんですね。



ガリガリ君の広告

赤城乳業株式会社
「ガリガリ君 60円から70円へ」



25年間 踏んぱりましたが、



60 → 70

日本で一番有名なアイスと言ってもいいくらいの国民的アイス、ガリガリ君が25年ぶりに値上げをするという広告です。会長をはじめとして役員や社員が100人以上並んで、一斉に頭を下げる。潔い好感の持てる広告です。

テレビCM、新聞広告なども掲載。テレビCMでは値上げの歌が流れました。「10円の値上げにここまでやるのか」とネット上では「なんだか許せる」という意見が多く、好印象の広告だったようです。